

浜岡原子力発電所 4 号機 原子炉冷却材浄化系の弁内での異物確認について
(続報)

2010 年 12 月 24 日

◆今回お知らせする内容

<p>調査結果</p>	<p>当社は、4 号機の原子炉冷却材浄化系の弁内で確認した異物(ナット 2 個)の混入原因の調査として、他系統からの流入の可能性も含め、同種のナットを使用している箇所について点検した結果、定期点検時に原子炉圧力容器上蓋を脱着する際に使用する装置にナット外れを確認しました。 このことから、ナット混入は同装置のナットがゆるみ、原子炉圧力容器の上蓋脱着時に原子炉圧力容器内に落下したものと推定しました。 なお、追加調査として原子炉圧力容器内を確認し、他に異物がないことを確認しました。</p>
<p>対策</p>	<p>現状、異物侵入防止対策として同装置の使用前にナット類のゆるみ確認を実施しているものの、今後は、使用しているナット類のゆるみ確認箇所を手順書に明記した上で、使用前点検を実施することとし、異物侵入防止対策の徹底に取り組んでいきます。</p>

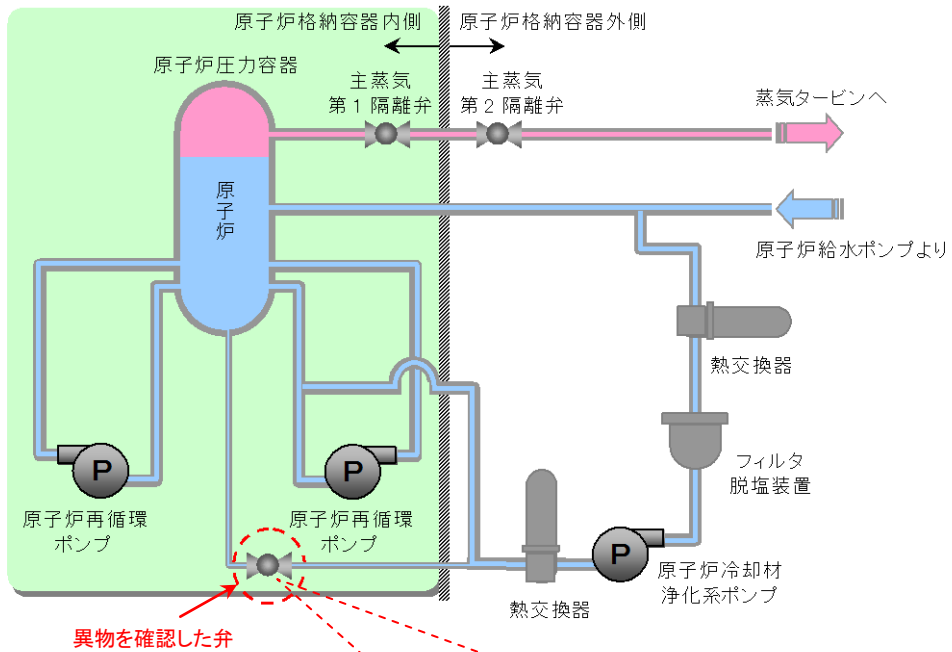
◆これまでにお知らせした内容

(2010 年 11 月 4 日公表)

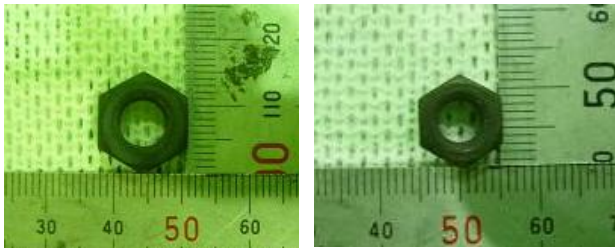
<p>発生号機</p>	<p>4号機 (定期検査中) : 沸騰水型、定格電気出力 113.7 万キロワット</p>
<p>発生日月</p>	<p>2010 年 11 月 3 日</p>
<p>状況</p>	<p>当社は、4 号機定期点検作業の一環として、原子炉につながる原子炉冷却材浄化系※配管の弁を分解したところ、18 時 00 分頃、弁内部に異物(ナット 2 個)があることを確認し回収しました。 【異物(ナット 2 個)の大きさ等(縦×横×高さ 数量)】 ・約 11mm×10mm×5mm 1 個 ・約 15mm×13mm×5mm 1 個</p>
<p>今後の対応</p>	<p>今後、回収したナットの混入原因の調査を実施します。</p>
<p>放射能の影響</p>	<p>本事象は、放射性物質の漏えいに係わる事象ではありません。</p>
<p>お知らせ基準</p>	<p>「表 2-9 原子炉又は使用済燃料貯蔵プールで異物を発見したとき又は混入したとき。圧力抑制室等に異物を発見したとき。」に該当します。</p>

※ 原子炉冷却材浄化系とは、原子炉水中の不純物を除去し、原子炉水の水質を維持するための系統です。

4号機 原子炉冷却材浄化系の概要図



確認した異物(ナット2個)



以上